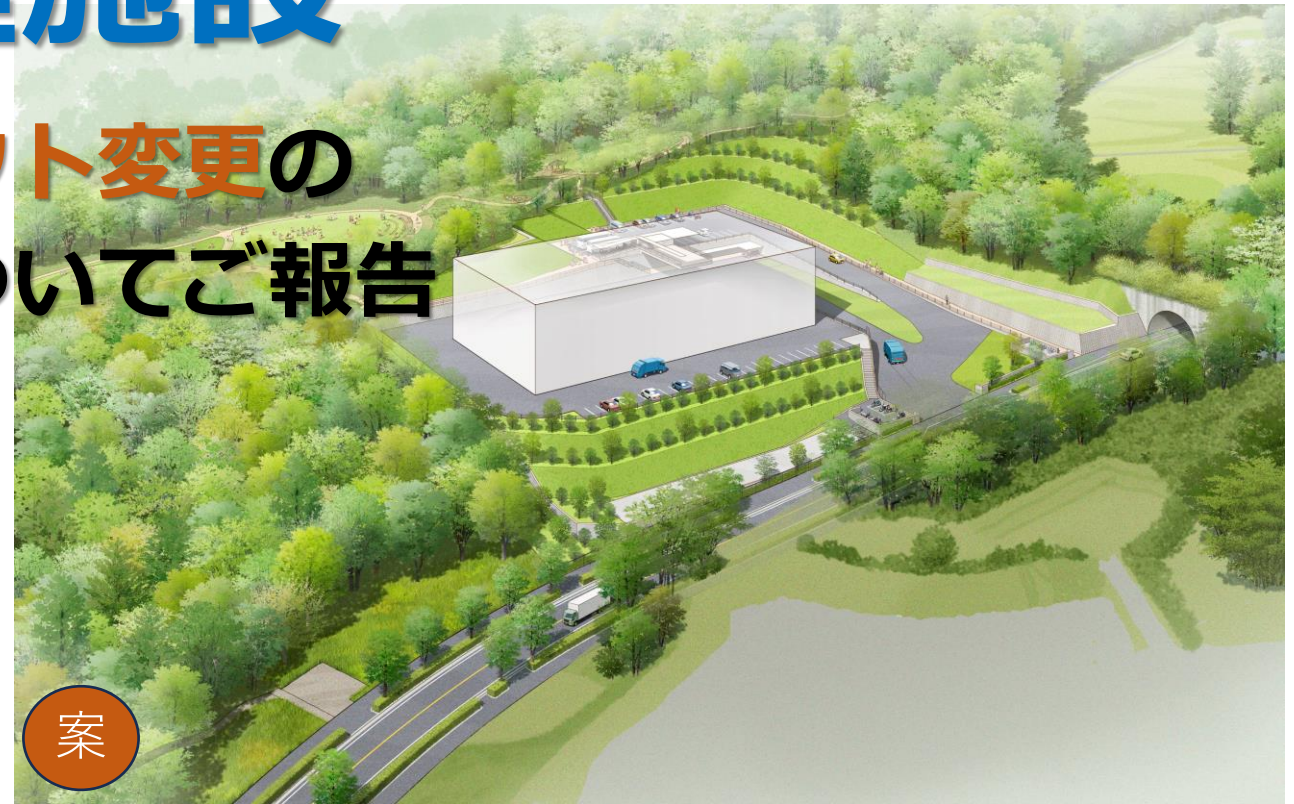


# 相原資源 ごみ処理施設

場内レイアウト変更の  
検討状況についてご報告



# 目次

1. 現在の案 ……P 2
2. 検討の概要 ……P 3 ~P 4
3. 検討の結果 ……P 5 ~P 9

# 1. 現在の案

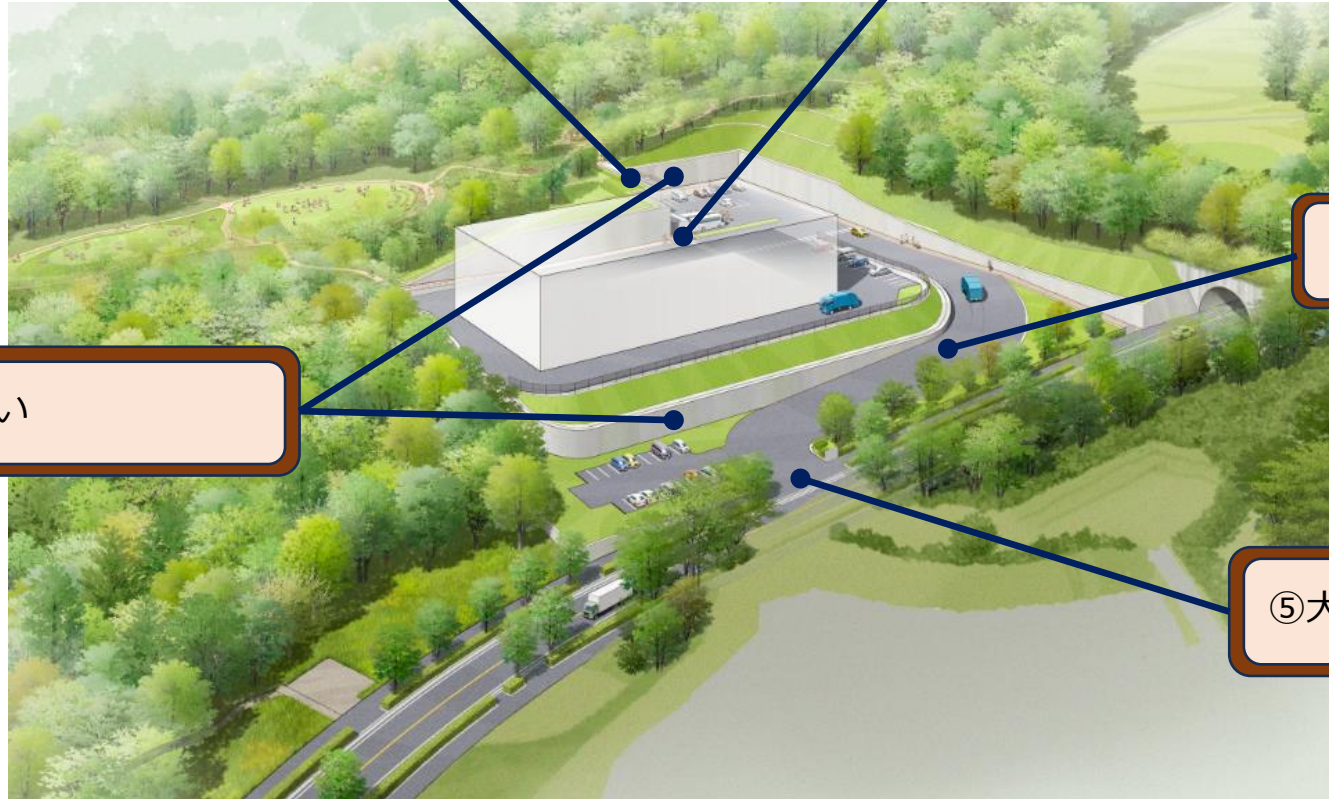
① 駐車場と緑地との高低差が大きい

③ 歩行者が構内道路を横断する

④ 構内道路の勾配が大きい

② 擁壁の高さが高い

⑤ 大型車の相互通行が難しい



※2021年度第14回相原地区資源ごみ処理施設連絡会で提示した配置図（案）をもとにした鳥瞰図です。

## 2. 検討の概要

### (1) 擁壁高さの低減等

- ① 駐車場と緑地の高低差を抑えたい
- ② 圧迫感のない擁壁計画にしたい



東京都の建設局に意見を伺いながら、擁壁の高さ等を可能な限り低くする（抑える）検討を行いました。

## 2. 検討の概要

### (2) 動線計画の安全性向上

- ③施設来場者の車路横断をなくするため歩行者と車両の動線を分離したい
- ④重量のある業務車両が通過する構内道路の勾配をゆるやかにしたい
- ⑤敷地出入口で大型車両が相互通行できるようにしたい



警察や道路管理者と協議を行い、より安全な敷地出入設定と動線計画の検討を行いました。

# 3. 検討の結果

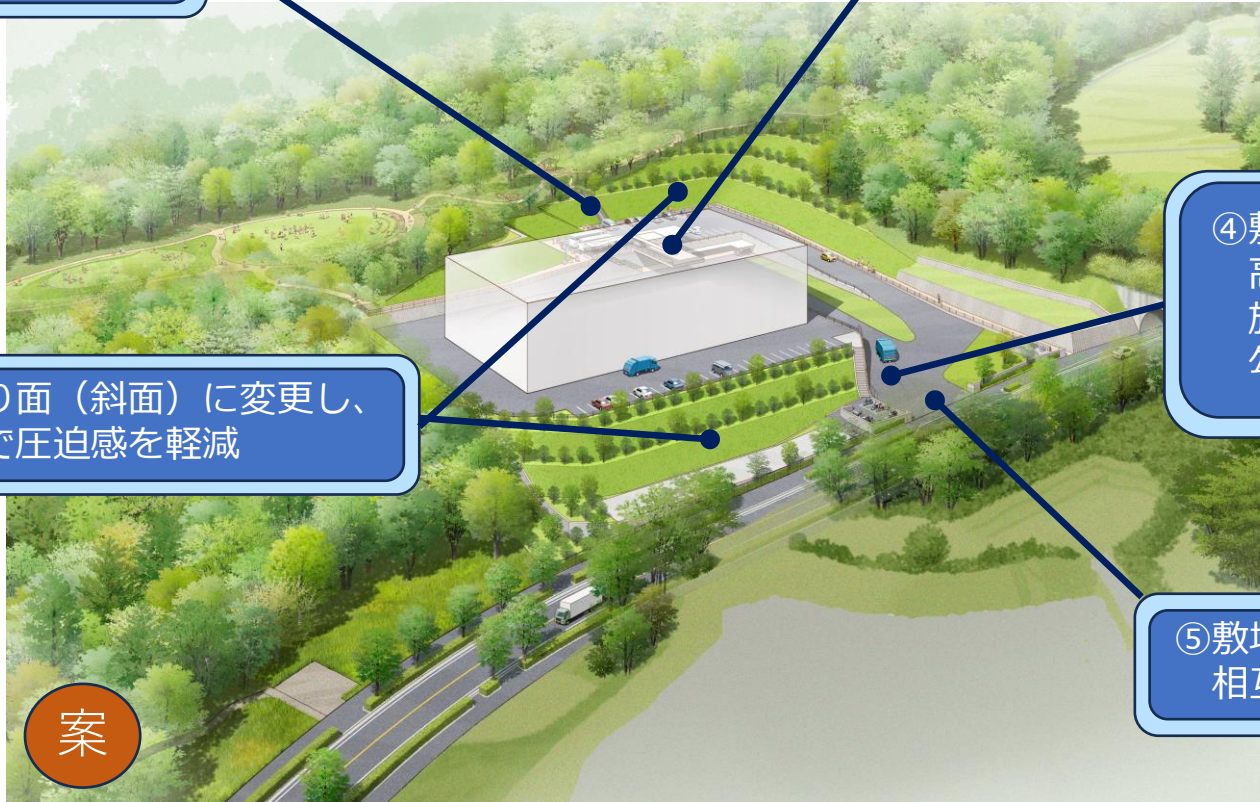
① 駐車場の地盤高を上げることで  
緑地との高低差を抑える

③ 施設来場者のアクセス動線をブリッジ化することで  
車両と歩行者の動線を分離 ※次頁に詳細図あり

② 擁壁を出来るだけのり面（斜面）に変更し、  
高さを低くすることで圧迫感を軽減

④ 敷地出入口を前面道路の道路高の  
高い方に移動するとともに、  
施設地盤高を下げて構内道路の  
勾配をゆるやかに変更

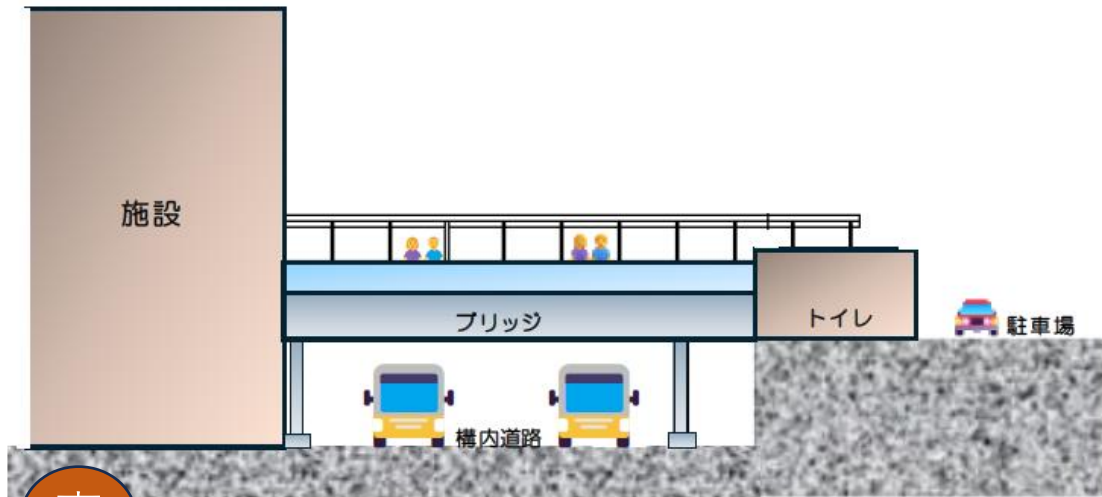
⑤ 敷地出入口を移動することで大型車両でも  
相互通行できる車両動線を確保



※本鳥観図は計画中のものであり、詳細については今後の調整により変更になる可能性があります。

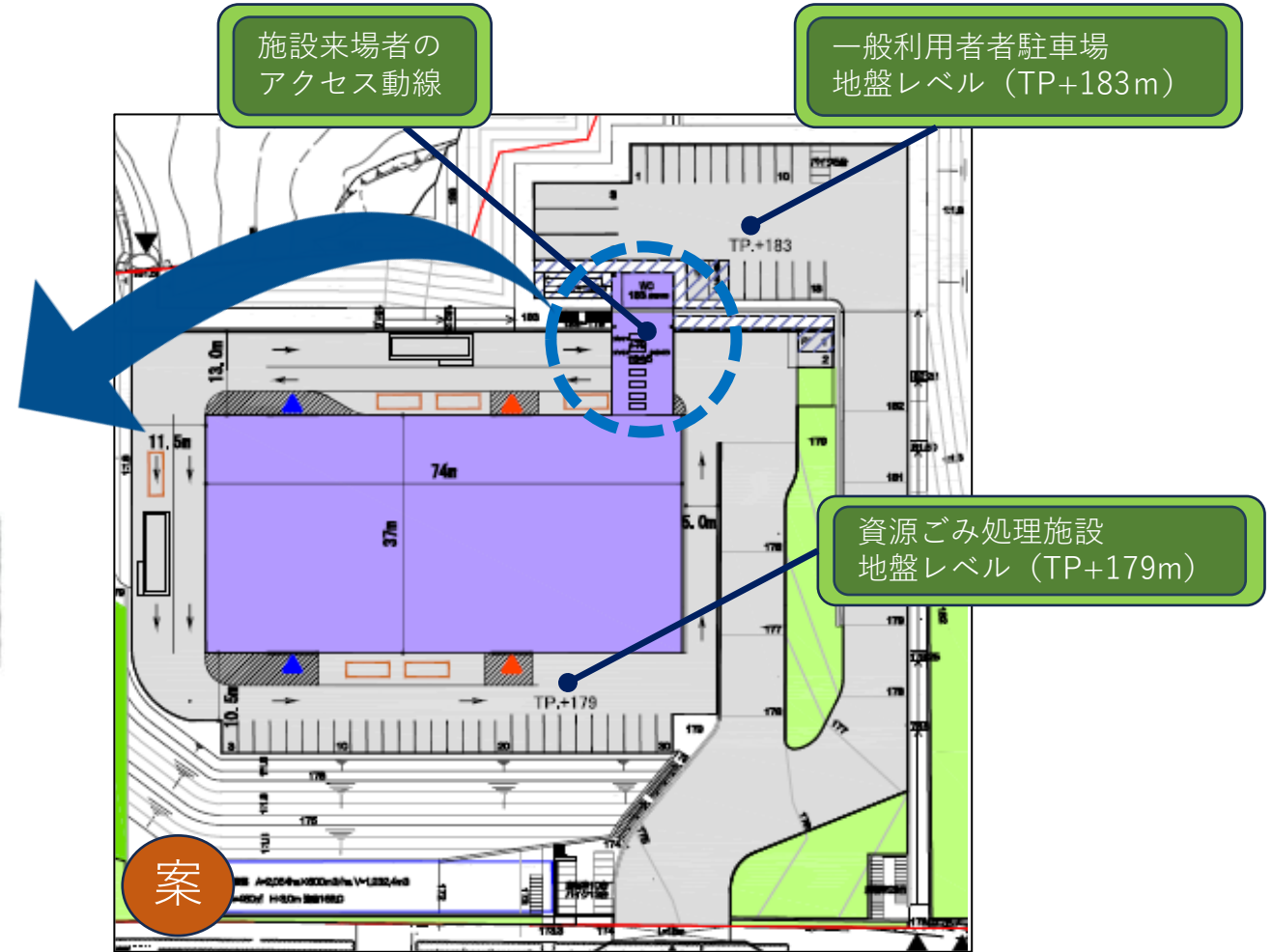
# 3. 検討の結果

## ～③施設来場者のアクセス動線に関する詳細図～



案

施設来場者のアクセス動線のイメージ (案)



案

検討後のレイアウト図 (案)

※TPとは、Tokyo Peil (東京湾平均海面) を基準とした標高 (海面からの高さ) を表す符号です。土地の高さや建物の地盤高さを示すのに使用されます。

# 3. 検討の結果

## (1) 擁壁高さの低減等

- ①一般利用者駐車場を施設の高さより高い位置に変更することで、緑地へのアクセスが容易に
- ②擁壁で計画をしていた部分をできるだけのり面（斜面）に変更し、高さを約7m（想定）から約4m（想定）に変更することで、高い擁壁による圧迫感を軽減

# 3. 検討の結果

## (2) 動線計画の安全性の向上

- ③施設来場者のアクセス動線を、横断歩道からブリッジに変更することで、車両と歩行者の動線を分離
- ④構内道路の勾配をゆるやかに変更することで、構内道路の勾配をより安全にする
- ⑤敷地出入口の位置を真米トンネル側へ移動し、出入口の幅を広く確保することで、敷地出入口で大型車両が相互通行できる車両動線を確保

# 3. 検討の結果

## (3) その他

- ・ 一般利用者駐輪場を堺 7 0 1 号線沿いに移動することで **駐輪可能台数が増え**、車両や歩行者と自転車の動線が分離されて **より安全に**

※今回の検討範囲は、外部のレイアウトに関連する箇所のみです。  
緑地や施設内部の計画に変更はありません。

**お問い合わせ先**

**環境資源部循環型施設整備課**

**☎ 0 4 2 - 7 2 4 - 4 3 8 4**

**✉ [kshigen070@city.machida.tokyo.jp](mailto:kshigen070@city.machida.tokyo.jp)**